

安藤鉄工株式会社（生産用機械器具製造業／岐阜県）【2021年10月計画認定】

- 産業用ロボットの精密減速機の主要部品を製造、世界中のロボットの約6割以上のシェア。今後、産業用ロボット市場の世界的な需要拡大を見越し、近隣2拠点に新工場設置予定。自動化・省人化設備の導入と併せて、積極的な設備投資により、生産拡大を図る。
- 工作機械台数600台と他社に比べ圧倒的な供給能力、メーカー・仕様を統一することで、一貫した多能工教育を実施し、フレキシブルかつBCP上も対応可能な生産体制を構築。
- 地方で人材確保が厳しい中、省人化・自動化設備を積極的に導入したことにより、生産性向上、労働環境改善を図り、安定的な人材確保に繋げ、拠点拡大に伴う生産対応を実現。

<会社紹介>

本社外観（池田町）



産業用ロボット精密減速機部品



本社工場（自動化ライン）



自動化設備（バリ取り）



<具体的な取組>

- 経営強化税制活用により、NC旋盤、マシニングセンター、産業ロボット等の自動化設備を積極的に導入。旋盤工程は100%自動化。設備を同一とし、多能工化教育を併せて推進することで、低コストで、増産時に応じた柔軟な生産体制構築。
- 社長トップダウンにより、バリ取り工程を自動化、現場とメーカーで5,6年かけ検討。ものづくり補助金も活用し、経験と勘による工程の自動化実現。
- リーマンショック時に今後の人員確保が困難になることを予測、工場拡張に併せて自動化・省人化に取り組み始め、積極的に人材採用を行ってきた。（リーマン時約100名→現在約350名）結果、現在の人手不足の中においても、業容拡大に対応。